

登録コード	E0000906	開講年度	2026				
授業科目	コンピュータ利用教育 G					担当教員	齊藤 忠彦
英文授業名	Educational Computing (Music)					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・4時限	対象学生	2年生
講義室	教育学びセンター 201			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				学校教育におけるICT活用に関わる著作権等について正しく理解し、ネット社会における公共的使命感や倫理観を高めることができるようになる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				教育関係全般の基本的情報リテラシーおよび音楽科教育において有益となるコンピュータ利用の方法とその教育的意義を実践的に学び、音楽科教育のためのICT活用技術を高めることができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	授業は講義と実習で構成する。コンピュータ利用の意義・役割を理解しながら、コンピュータの基本的操作方法を習得する。音楽科に関係する音楽系アプリの扱いを中心とし、生成AIに関わる利活用を含める。						
(5)授業計画	第1回：コンピュータ利用教育の意義，GIGAスクール構想ほか【データサイエンスを含む】 第2回：生成AIの進化と学校版の安全性，Geminiの基本ほか【データサイエンスを含む】 第3回：Gemの基本，プロンプトの基礎ほか 第4回：NotebookLMの活用，Deep Researchほか 第5回：Canvasの活用，画像生成・編集ほか 第6回：Word, Excel, PowerPointの応用 第7回：音楽系アプリの紹介と実践 第8回：音楽系アプリを用いての楽譜制作 第9回：音楽系アプリを用いての作品制作 第10回：音楽系生成AIの紹介と実践 第11回：音楽科におけるICTの活用法，デジタル教科書など 第12回：ICTを用いての音楽教材制作（小学校） 第13回：ICTを用いての音楽教材制作（中学校） 第14回：制作した教材紹介と定期試験，授業アンケート実施						
(6)成績評価の方法	コンピュータの基本操作の知識や技能に関わる評価が20%（ ），音楽系アプリの基本操作に関わる評価が20%（ ），音楽系アプリを用いた作品制作に関わる評価が20%（ ），CITを用いての教材制作に関わる評価が20%（ ），本授業全体を通しての関心・意欲・態度に関わる評価を20%（ ）とし評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	（4）の から までの内容に関わる評価が極めて高くかつ が極めて高い評価であった場合は「卓越している」， から までの内容に関わる評価が高くかつ が高い評価であった場合は「かなり上にある」， から までの内容に関わる評価が一定水準以上でかつ の評価が標準的であった場合は「やや上にある」， から までの内容に関わる評価が水準にありかつ について標準的な取り組みであった場合は「水準にある」と評価する。						
(8)事前事後学習の内容	本授業では，主に音楽作品や音楽教材の制作を行なう。一つ目は音楽系アプリを用いた作品制作，もう一つは，ICTを用いた教材制作である。作成は授業の事前および事後に行なうこともある。これらの制作を通して，コンピュータ活用の能力を高めていく。 この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って，60時間以上の時間外学習が必要となる。						
(9)履修上の注意	・作品や教材の制作の場面では，授業時間外での事前事後の準備が必要となる。 ・個人のノートパソコンを用いる場合がある。 ・授業で使用するデータ管理は，個人で責任をもって行なうようにする。						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	オフィスアワー：研究室在室時は常時対応可（N410） 研究室電話：026-238-4133 メールアドレス：saitota@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	特になし						
【参考文献】	適宜紹介						